



第57回



豊田おいでんまつり 実施報告

令和7年10月24日

豊田おいでんまつり実行委員会

豊田おいでんまつりについて



1 構成

豊田おいでんまつりは、マイタウンおいでんとおいでん総踊りからなる「踊り」と、「花火大会」で構成

2 趣旨

市民が楽しみ、感動し、訪れる人を温かく迎えることができるようなふるさとのまつりを市民・事業者・行政の共働の力でつくりました。また、市民が豊田市の素晴らしさを再認識し、郷土愛を醸成する「WE LOVE とよた」が体感できる取組を行いました。

3 主催

豊田市・中日新聞社・東海テレビ放送

4 基本テーマ

「WE LOVE とよた」 魅力発見 ふるさとのまつり

- ・「WE LOVE とよた」の露出を高め、市内外へとよたの魅力を発信しました。
- ・地域を巻き込んだ「WE LOVE とよた」の演出により、魅力あるまつりとなりました。

5 スケジュール

日 程	内 容
1月 6日(月)～1月10日(金)	マイタウンおいでん開催団体募集
3月24日(月)～5月7日(水)	おいでん踊り連、リトルおいでん、おいでんアートの参加募集 ※総踊りに直接参加を希望する「中高生連」は6月27日(金)まで申込受付
5月8日(木)～5月23日(金)	協賛席豊田市民先行申込受付
5月13日(火)	マイタウンおいでん参加連の発表（公式 HP で発表）
5月13日(火)～5月20日(火)	おいでん踊り連、リトルおいでん、おいでんアートの参加追加募集
5月21日(水)	マイタウンおいでん追加参加連の発表（公式 HP で発表）
6月2日(月)～6月6日(金)	リトルおいでん踊り位置決め抽選期間
6月2日(月)～6月20日(金)	協賛席一般申込受付
5月31日(土)～7月6日(日)	マイタウンおいでん（14会場）
7月10日(木)	おいでん総踊り 踊り連説明会・スタート位置決め抽選会
7月22日(火)	おいでん総踊り スタート位置の発表（公式 HP で発表）
7月26日(土)	おいでん総踊り
7月27日(日)	花火大会

6 豊田おいでんまつり第57回開催に向けての関係会議等

年	日 程	内 容
令和6年	9月26日(木)	第1回 幹事会(基本計画)
	10月7日(月)	第1回 実行委員会(基本計画)
	10月8日(火)	第1回 マイタウンおいでん連絡協議会
	12月16日(月)	第1回 踊り部会
令和7年	1月9日(木)	第2回 マイタウンおいでん連絡協議会
	1月27日(月)	第2回 踊り部会
	2月12日(水)	第2回 幹事会(実施計画)
	2月13日(木)	第3回 マイタウンおいでん連絡協議会
	2月17日(月)	第3回 踊り部会
	2月20日(木)	第2回 実行委員会(実施計画)
	3月13日(木)	第4回 マイタウンおいでん連絡協議会
	3月17日(月)	第4回 踊り部会
	4月10日(木)	第5回 マイタウンおいでん連絡協議会
	4月21日(月)	第5回 踊り部会
	5月8日(木)	第6回 マイタウンおいでん連絡協議会
	5月8日(木)	令和7年度第1回幹事会(事業報告、第57回開催に向けて) ※年度での数え方に変更
	5月12日(月)	第6回 踊り部会
	5月19日(月)	令和7年度第1回実行委員会(事業報告、第57回開催に向けて)
	5月19日(月)	花火師事前説明会
	5月22日(木)	第7回 マイタウンおいでん連絡協議会
	6月9日(月)	第7回 踊り部会
	7月7日(月)	第8回 踊り部会
	7月10日(木)	警備部会
	7月10日(木)	おいでん総踊り 踊り連説明会・スタート位置決め抽選会
	7月23日(水)	おいでん総踊り 審査員説明会
	7月31日(木)	「おいでん踊り」意見交換会
	8月4日(月)	第9回 踊り部会
	8月7日(木)	第8回 マイタウンおいでん連絡協議会
	10月6日(月)	令和7年度第2回幹事会(実施報告)
	10月24日(金)	令和7年度第2回実行委員会(実施報告)

I 踊りについて



1 マイタウンおいでん

(1) 開催実績

ア 開催期間 5月31日(土)～7月6日(日)
 イ 会場数 14会場(前回実績:15会場)
 ウ 開催回数 14回(前回実績:15回)
 エ 踊り連数 踊り連:108連 2,373人、リトル:18連 507人
 (前回実績 踊り連:113連 2,288人、リトル:15連 463人)
 オ 観客数 26,367人(前回実績:28,280人)
 カ 各マイタウンおいでんの実績

日程	マイタウン名称	踊り連		リトル		来場者数
		連数	人数	連数	人数	
5月31日(土)	いざ出陣!松平おいでんまつり	6 (9)	88 (199)	2 (1)	29 (31)	1,200 (1,000)
6月7日(土)	いけいけ鞍ヶ池おいでんまつり	11 (12)	166 (265)	0 (0)	0 (0)	3,960 (3,850)
6月14日(土)	元祖おいでん上郷!2025	4 (5)	72 (111)	1 (1)	30 (28)	3,000 (3,000)
	踊ろ舞!おいでん小原	6 (3)	107 (43)	0 (0)	0 (0)	300 (1,500)
6月21日(土)	足助地区おいでんまつり	8 (6)	141 (110)	0 (0)	0 (0)	200 (500)
	マイタウンおいでん 香恋の里しもやま	4 (4)	81 (73)	0 (0)	0 (0)	220 (300)
	稲武おいでんまつり 2025	5 (4)	86 (61)	0 (0)	0 (0)	287 (280)
6月28日(土)	猿投おいでん夏まつり	8 (10)	204 (161)	2 (3)	88 (99)	3,000 (2,500)
	マイタウンおいでん高岡	7 (8)	132 (185)	5 (4)	139 (142)	3,500 (3,300)
7月5日(土)	おいでんあさひ風鈴まつり	6 (5)	85 (54)	1 (2)	25 (32)	500 (500)
	IYOIYO おいでん	9 (8)	300 (180)	1 (0)	1 (0)	200 (250)
	ふじおかおいでん夏まつり	9 (5)	172 (122)	1 (1)	11 (10)	3,000 (4,000)
	ほ〜いおいでん大林 2025 大林町納涼祭	5 (6)	164 (212)	4 (2)	156 (77)	2,000 (2,300)
7月6日(日)	豊スタおいでん夏まつり 2025	20 (18)	575 (354)	1 (1)	28 (44)	5,000 (4,000)
合計		108 (113)	2,373 (2,288)	18 (15)	507 (463)	26,367 (28,280)

※ () 内は前回実績。第56回の合計実績は「ほみにおいでん」開催分を含む

(2) 概要

- ア 雨天や気温が高まる時期を避けるため、開催時期を5月末に早めて実施しました。
- イ 会場では、各マイタウンおいでん運営委員会が主体となり、地域の特色を活かした取組に加え、特産品や地元グルメの出店などで会場を盛り上げました。また、地域の活動団体や中学校と連携するなど、地域一体となってまつりを盛り上げました。
- ウ 毎月開催するマイタウンおいでん連絡協議会においては、暑さ対策などの運営面に関する意見交換のほか、共同事業や情報発信等の検討を行いました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 新たにマイタウンおいでん会場を盛り上げた踊り連を表彰する「WE LOVE おいでん賞」を新設し、複数会場への参加につなげました。
- イ 多くの市民にマイタウンおいでんを知ってもらうため、市内小学校への広報や、公式Instagramを活用した情報発信を行い、踊り連や観客の来場につなげました。
- ウ 共同事業「くるくるおいでんビンゴ」において、各マイタウン会場から一押しの景品を提供するなど、一体となってマイタウンおいでんをPRしました。

(4) 課題

- ア マイタウンおいでんが地域とのつながりを創出する機会とするために、多くの観客に来場してもらう取組の充実や、更なる情報発信の工夫が必要です。
- イ 更なる魅力向上に当たっては、地域の協力や担い手の確保のほか、協賛による資金確保など安定的な運営体制が必要です。
- ウ 多くの方に安全・安心な状態で参加いただくため、雨天時の対応や熱中症対策など、運営マニュアルを充実させていく必要があります。

2 おいでん総踊り

(1) 開催実績

ア 開催日時 7月26日(土) 17:45～21:00
 イ 参加者数 踊り連：52連 1,854人 リトル：11連 310人
 (第56回実績 踊り連：55連 1,560人 リトル：12連 363人)
 おいでんアート：5団体(第56回実績 3団体)

ウ スケジュール

行事名	開催時間	場所	主な行事内容
オープニング	17:45～19:05	名鉄 豊田市駅 東側一帯	・スプラッシュおいでん(おいでん remix) ・WE LOVE とよた PR タイム 【トヨタ自動車硬式野球部、トヨタ自動車レッドテリアーズ、名古屋グランパスエイト、トヨタヴェルブリッツ、豊田少年少女発明クラブ】 ・豊田市ジュニアマーチングバンドによるパレード ・美里幼稚園、こじまこども園鼓笛隊による演奏 ・大賞旗返還、市長挨拶、おいでんコール
リトルおいでん	19:05～19:25		未就学児による踊り
おいでん踊り	19:35～21:00		踊り連(一般・子ども・中高生)による踊り
おいでんアート	19:35～21:00		おいでんアート(5基)
屋台広場	17:00～21:00	挙母神社	屋台

エ 表彰結果

賞	部門	連 名
おいでん大賞	ベーシック	Hope☆Star
	フリー	UJSC
優秀賞	ベーシック	COPAIN
	フリー	エンジェル R.G
トヨタふれあい大賞	ベーシック	SWEET DEVIL
	フリー	ReMSH
チビッコ大賞	ベーシック	リトル UJSC
	フリー	レインボースターランチャー学園
入賞	ベーシック	とよしん踊り連 POP de NO. 1 ダンシング☆ティーチャーズ!
	フリー	CHEERfull! ULYSIS Joie

賞	部門	連 名
踊り部会長賞	共通	JA あいち豊田 こめった食 LOVE
WE LOVE おいでん賞		サバイバルリターンズ
民謡特別賞		おし鴨〜ン。
シニア賞		H e a r t B e a t s
アオハル賞		STAR RUBY
オーディエンス賞		ReMSH
おいでんアート大賞		大林学区踊り連
おいでんアート優秀賞		矢作川水族館 with キッズプランナー

※その他個人賞として 66 人にメダルを配布

(2) 概要

ア オープニング

モデル・タレントのヴィトルとひまわりネットワークアナウンサー原田栄が総合司会を務めました。

イ WE LOVE とよたの PR

オープニングにおいて、豊田市を拠点に活躍するスポーツチームの登壇や市民の輝かしい功績を称えるなど、来場者に向けて豊田市の魅力を発信しました。

ウ 踊り全体

- (ア) 若年層の参加者を増やすため、おいでんまつりの体験企画「青春おいでん」を実施し、市内在住・在学の高校生が 14 名参加しました。
- (イ) 会場での一体感を高めるため、プログラム中に全員で同じ振り付け（ポップ）で踊る時間を設けました。
- (ウ) 踊ることの楽しさを体感してもらうため、観客が踊りに参加できる「飛び入り連」を設けました。
- (エ) 誰もが楽しめる取組として、会場の観客が踊り連の審査を行う、オーディエンス審査（オーディエンス賞）を実施しました。
- (オ) 熱中症対策として、豊田商工会議所青年部の協力によるミストレンジャーのミスト噴霧のほか、ミスト扇風機の設置や休憩時間の確保や、水分補給を促す注意喚起を徹底しました。

エ その他

- (ア) トヨタ元町工場夏まつりと連携し、夏まつりの会場内において「おいでん踊り」を実施しました。従業員や地元自治区が参加したほか、市内外の多くの方においでん踊りを PRしました。
 - (イ) 若年層においでん踊りを普及するため、おいでんまつりの歴史や、踊りの指導等を行うおいでん出前講座を市内小学校（中山小学校、飯野小学校、挙母小学校※の 3 校）で実施しました。
- ※挙母小学校は、10 月末に実施予定

(3) 新たな取組と成果

- ア 誰もが楽しめる企画「スプラッシュおいでん」を開催し、282名（R6：157名）が参加しました。新たに対戦形式の的当てゲーム要素を取り入れるなど、来場機会を創出するとともに、熱中症対策として効果を発揮しました。
- イ 大学生を対象とした「青春おいでんサポーター」に12名が参加し、青春おいでんの活動を支援したほか、踊り連として出場するなど豊田おいでんまつりの魅力発信を行いました。
- ウ 特別賞で、踊り連として参加する姿勢や市民まつりとしての楽しみを表彰（WE LOVE おいでん賞、民謡特別賞、シニア賞の設定）するなど、参加促進へつなげました。

エ 熱中症対策として、新たな開催基準を設けたほか、踊りコースにミスト車 1 台を設置し、安全安心に参加できる環境配慮に努めました。

<参考 1 熱中症（暑さ）対策における「開催基準」>

- ・おいでん総踊りの前日（午後 2 時）に、「熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）」が発表された場合は、おいでん総踊りの開催を中止する。
- ・おいでん総踊りの前日 17 時時点において、26 日 18 時の「暑さ指数（WBGT）」の予測値が「28（厳重警戒）以上」である場合は、未就学児が参加するプログラム（鼓笛隊、リトルおいでん）を中止する。

<参考 2 おいでん総踊り当日の暑さ指数（WBGT）>

	12 時	15 時	17 時	18 時	19 時
WBGT 予測値（前日 25 日 17 時時点）	29	32	29	27	26
WBGT 実績値（当日 26 日）	30.6	30.6	29.3	27.8	26.1

参照：環境省「熱中症予防情報サイト」

（４）課題

- ア 踊り手の増加や「飛び入り連」への親子参加など、「おいでん踊り」が豊田市民に定着していると感じられる一方で、企業や地域による踊り連数は増加していません。おいでん踊りによるつながりや、踊りの楽しみなど、おいでん踊りを体験・体感する機会の充実が必要です。
- イ 参加に当たっては、踊りのルールや踊り手の人数確保にハードルの高さを感じている踊り連がいます。過去から受け継がれてきたおいでん踊りを尊重しながらも、参加しやすい仕組みの見直しが必要です。
- ウ 会場運営においては、歩行スペースの確保や照明の明るさ、また、プログラム遅延による規制解除の遅れ、騒音などが指摘されました。来場者の安全確保のほか、地域住民への事前周知、十分な配慮が必要です。
- エ 第 57 回において開催基準を設定するなど熱中症対策を講じていますが、運営上の対策には限界があります。安全安心に楽しめるまつりとして、開催時期の変更や、開催プログラムの見直しが必要です。

<マイタウンおいでん>



<おいでん総踊り>

リトルおいでん



総踊り



スプラッシュおいでん



青春おいでん



Ⅱ 花火について



1 花火大会

(1) 開催実績

ア 開催日時 7月27日(日) 19:00～20:40

イ 観客数(電子端末での集計値。来賓席含む。特別来賓席、招待席は含まない。)

単位：人

	全席数	入場者数 (※)	個人協賛席 総数	個人協賛席 実績	空席率
第56回	16,557	13,578	12,976	11,318	12.8%
第57回	15,993	12,970	11,224	11,028	1.7%

(※) 電子端末での集計値。来賓席含む。特別来賓席、招待席は含まない。

ウ 打上発数 非公開

エ 煙火業者等 株式会社挙母煙火(豊田市)、有限会社豊田煙火(豊田市)、株式会社磯谷煙火
店(岡崎市)、株式会社紅屋青木煙火店(長野県)、有限会社太陽堂田村煙火
店(長野県)、三遠煙火株式会社(静岡県)、田畑煙火株式会社(静岡県)、
一般社団法人日本煙火芸術協会、松平郷手筒保存会

(2) 概要

ア 第56回に引き続き、駅周辺工事を踏まえた開催時間としました。

イ 協賛席の座席数について、第56回の売れ行きを踏まえた席数に見直しを行いました。

ウ 第56回に引き続き、複数の協賛者により1つのスターマインを打ち上げる「おいでん大スターマイン サンフ
ラワー」の取組を実施しました。

(3) 新たな取組と成果

ア スノーピーク社製のテーブル等を使った高付加価値の協賛席メニューである「プレミアテーブル席」を**北エリアの
先北端から南エリアの豊田大橋側に移動し**、花火の見やすい高付加価値に相応しい席にすることができま
した。

イ 熱中症対策として、市街地のミストファンに加え、**新たにミスト車を設置し、熱中症対策を強化しました。**

ウ まつり本部と各救護所との間で行う落し物などの**連絡手段をファクシミリからスマートフォンに変更し**、情報
共有の円滑化ができました。

(4) 課題

ア 河川敷の草木への引火予防策、フェンスやテント等の資機材のしっかりとした固定など、安全・安心な会場
準備・設営に引き続き努めていく必要があります。

イ 市民に愛されるまつりとするため、会場周辺のゴミの回収方法について検討する必要があります。

ウ 高橋側の北ゲート付近の河川敷に繋がる階段の道幅が狭く危険なため、北ゲートの位置や動線を見直す
など、さらなる事故予防に取り組む必要があります。

エ 一部の救護所でスマートフォンの通信状況が思わしくなかったため、業者と対策を講じ、万全な連絡体制を
整える必要があります。

Ⅲ 協賛について



1 協賛実績（9月1日現在）

（単位 円）

区 分	第 5 7 回	第 5 6 回
花火	107,831,200	100,048,000
法 人	35,780,700	33,789,000
バスツアー	0	130,000
個 人	71,373,500	66,129,000
ふるさと納税	677,000	—
広告等	8,585,000	8,150,000
その他（賞金等）	1,725,500	863,500
合 計	118,141,700	109,061,500

2 概要

- （１） 協賛価格の見直しに対する理解を得ながら、昨年度を上回る協賛をいただくことができました。
- （２） 個人協賛席は引き続き市民先行価格を設定し、市民がより安価に協賛できる機会を提供しました。
- （３） 法人協賛は、大半が第 5 6 回と同様の企業であり、継続的に協賛へのご理解をいただくことができました。

3 新たな取組と成果

- （１） ふるさと納税の返礼品に個人協賛席を加え、全 9 2 人分のうち、8 2 人分の申し込みをいただきました。
- （２） 個人協賛席の当日受付所を参合館前から豊田大橋ゲート付近に移設し、協賛申込後のスムーズな入場を実現しました。なお、当日受付所に用意した 1 2 0 人分の当日協賛席すべてに協賛をいただくことができました。（第 5 6 回実績 3 0 人分）

4 課題

- （１） 第 5 7 回の協賛状況を踏まえ、さらなる協賛をいただけるよう座席の数や位置の見直しが必要です。
- （２） ふるさと納税返礼品や当日販売所での協賛が予想より好調なため、席種と座席数の拡充が必要です。
- （３） 子育て世代や大学生などの若者が協賛しやすい席の検討を行い、今まで以上に幅広く、多くの方が協賛席で観賞しやすくなるような設計を行う必要があります。

Ⅳ 警備について



1 会場警備・交通規制・雑踏

(1) 警備体制実績

(単位 人)

内 容		踊 り		花 火		合 計	
		第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回
警備員	警備ディレクター	9	9	16	13	25	22
	エリア長	0	0	13	13	13	13
	警備隊長	14	14	27	28	41	42
	遊撃警備	43	43	50	50	93	93
	交通誘導警備	61	60	192	158	253	218
	雑踏警備	95	86	412	384	507	470
	駐車場警備	10	10	37	28	47	38
	整理誘導要員	6	5	65	94	71	99
消防団		45	43	186	199	231	242
合 計		283	270	998	967	1,281	1,237

(2) 概要

- ア 駅前現地本部内において、警備・警察・消防との連携体制を密にするとともに、各種警備員の適切な配置により、過度な混雑状況等に対しても迅速に対応することができました。
- イ 警察、鉄道 2 事業者、実行委員会による 4 者協議を開催し、駅前の混雑緩和対応策の検討とその方針の共有を図ったことで、スムーズに観客を誘導することができました。
- ウ 花火大会では救急車などの緊急車両動線と、来場者の歩行者動線を確保するため、駅前停車場線、白浜側堤防道路上（久澄橋～高橋の間）に、カラーコーンなどの資材を用いて「緊急対策エリア」を設けました。
- エ 立入禁止区域と交通規制区域内への進入防止や、会場周辺の渋滞を防ぐため、誘導・迂回看板、横断幕を適所に設置しました。

(3) 新たな取組と成果

- ア 駅周辺工事の状況を踏まえ、駅への復路動線や警備員を配置し、駅利用者による待機列の早期解消など、駅前の混雑を緩和することができました。
- イ 花火大会における臨時駐車場 8 か所（1,738 台）の事前予約制・有料化を実施し、周辺道路の交通渋滞緩和及び来訪者の利便性向上につなげました。
- ウ 八幡公園内において、警備員を増員するとともに、露店や資機材の配置を見直し、座り込みによる花火観覧の滞留抑制し、入場制限をかけることなく、安全に運営することができました。
- エ 現地警備員に取り付けたウェアブルカメラによる映像を用いて、駅前現地本部内にてリアルタイムの現場状況を確認したことで、過度な混雑状況などに対して早期に対応することができました。
- オ 滞留が予想された箇所（八幡公園、拳母神社、川端公園）のリアルタイムの映像を、参合館前のビジョンカーにて映し出し、露店等へ向かう観覧者を、比較的空いている川端公園（キッチンカーまるしえ）へ誘導することができました。
- カ 堤防道路の滞留対策として、豊田大橋袂や久澄橋北側の歩行者通行制限や一方通行規制をおこない、雑踏事故を防止することができました。
- キ 各エリア単位で、担当する警備会社の責任者と、警察や実行委員会による合同現場実査を実施し、警備体制の強化を行うことで、警備員の役割意識の向上を図りました。

(4) 課題

- ア 花火大会時の堤防道路において、立ち見による滞留が発生し、人流のコントロールが困難となる時間帯がありました。堤防道路上の花火観覧を抑止し、歩行者の流れを確保する対策検討が必要となります。
- イ 堤防道路等からあふれた観客が、民地への入り込みや道路上で滞留するケースが発生しました。警察と協力した指導や、適正な観覧場所への案内などの対策検討が必要となります。
- ウ 鉄道への復路動線において、既定の動線以外からの帰宅者が散見され、誘導に苦慮する時間帯がありました。鉄道帰宅者の流れをより分かり易くする検討が必要となります。

2 救護

(1) 救護実績

(単位人)

状 況	踊り		花火		両日	
	第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回
怪 我 (うち、救急搬送人数)	2 (0)	2 (0)	4 (1)	9 (0)	6 (1)	11 (0)
体調不良 (うち、救急搬送人数)	5 (2)	11 (4)	19 (6)	33 (6)	24 (8)	44 (10)
その他 (うち、救急搬送人数)	1 (1)	1 (0)	2 (0)	7 (1)	3 (1)	8 (1)
合 計 (うち、救急搬送人数)	8 (3)	14 (4)	25 (7)	49 (7)	33 (10)	63 (11)

※救護所数	4 か所	4 か所	8 か所	8 か所
-------	------	------	------	------

(2) 概要

- ア 各救護所に消防職員を配置し、水、氷、A E D、車イス、救急用医薬品等を設置しました。
- イ 救急車の出動時には、消防・警察・警備員と連携して、事前に定めたピックアップポイントを活用し、緊急対策エリアが有効に機能し、迅速な搬送に努めました。

▼ビジョンカー



▼駅前現地本部



▼ウェアブルカメラ監視



V その他会場・運営について



1 運営スタッフ・ボランティア

(1) 実績（清掃活動参加者を含む。）

（単位 人）

内 容		踊り		花火		両日	
		第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回
市職員	産業部	44	52	78	85	122	137
	消防	28	21	56	48	84	69
	その他応援	4	6	73	63	77	69
委託スタッフ	進行	11	12	34	32	45	44
	運営	67	59	126	121	193	180
	清掃	0	0	13	15	13	15
ボランティア	一般・市職員 互助会	39	42	30	54	69	96
	市役所職制会	0	0	22	22	22	22
	企業・団体	35	53	15	31	50	84
合 計		228	245	447	471	675	716

(2) 概要

ア 市の応援職員による確実な人員確保及び適切な配置を行い、円滑な運営に資することができました。

イ 一般ボランティア、企業・団体ボランティアの方々にご参加いただき、市民との共働によるまつりを実施することができました。

ウ 総踊り・花火大会の当日及び翌日の早朝から、地元住民、企業及び団体の皆様により、清掃活動のご協力をいただきました。

2 ごみ・清掃対策

(1) ごみ回収量実績

（単位 kg）

区 分		踊り		花火		両日	
		第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回	第 57 回	第 56 回
資源ごみ	ペットボトル	150	130	1,560	1,180	1,710	1,310
	カン・ビン	110	125	565	590	675	715
燃やすごみ		120	180	2,410	1,850	2,530	2,030
産業廃棄物（廃プラ）		150	190	4,270	5,860	4,420	6,050
排出量合計		530	625	8,805	9,480	9,335	10,105

(2) 概要

ア ごみステーションにスタッフを配置し、会場内やその周辺のごみ分別・回収活動を実施しました。

イ ごみステーションの開設時間について、露店等の営業時間に対応したものとし、スタッフの業務についても、運営時間が長いごみステーションにおいては、早番と遅番の交代制をとり、効率的なごみの回収に努めました。

3 屋台広場

(1) 開催実績

日にち	出店時間	場所	店舗数（昨年度）
7月26日（土）	17：00～21：00	拳母神社屋台広場	61店（60店）
7月27日（日）	17：00～20：40	豊田スタジアム東エリア	39店（38店）
		スカイホール豊田南入口エリア	40店（41店）
		八幡公園	95店（88店）
		とよたキッチンカーまるしえ	27店（15店）

(2) 概要

- ア 屋台広場は、早い時間から多くの人で賑わい、まつりの雰囲気醸し出すことができました。
- イ 消防と連携し各店舗に立入検査を実施し、消火設備等の確認を行い、安全確保に努めました。
- ウ 花火観覧客分散のため、川端公園にて豊田市の特産品を扱う「キッチンカーまるしえ」を行いました。

(3) 課題

- ア 八幡公園では、座り込みによる滞留を防止することができましたが、立ち見による花火観覧客による滞留が一部見受けられたため、適切な動線の確保等の対策が必要となります。
- イ 川端公園（キッチンカーまるしえ）や御立公園について、事前案内や当日のビジョンカー、警備員による誘導などにより、多くの方を集客することができましたが、さらなる花火観覧客の分散に向けた対策が必要となります。

<川端公園キッチンカーまるしえの様子>



▲まるしえ出店



▲川端公園からの打ち上げ花火

<その他屋台広場の様子>



▲八幡公園



▲スカイホール豊田

Ⅵ 総務・広報・宣伝について



1 総務

- (1) まつり関係業務における専任の臨時職員を1名雇用しました。
- (2) まつり中止への対応として、興行中止保険へ加入しました。

2 広報宣伝実績

(1) テレビ放送

ア 東海テレビCM放送

7月12日(土)から25日(金)にかけて、30秒間のCMを8回放送しました。

イ ひまわりネットワーク生中継

おいでん総踊り・花火大会当日に、生中継を行いました。

また、YouTubeでも同様の内容をライブ配信しました。

(2) 新聞広告

新聞名	掲載日
中日新聞	5/27(火)
新三河タイムス	5/30(金)
矢作新報社	7/18(金)
毎日新聞	7/15(火)
毎日新聞	7/24(木)
中日新聞	7/26(土)

(3) ポスター

踊り連募集とおいでんまつりをPRする2種類のポスターを作成し、市内各所に掲示することによっておいでんまつりを盛り上げました。

(踊り連募集PR 1,110枚、全体PR 4,000枚)

掲示先	踊り連募集用	まつり用
マイタウンおいでん運営委員会	275枚	250枚
会議所、市内観光協会、大型店舗、 学校、金融機関、宿泊施設等	431枚	465枚
飲食業、酒類販売業、石油組合等	—	530枚
協賛企業	—	1,000枚
市関係機関 他	275枚	270枚
おいでんバス・名鉄バス	114枚	114枚
名鉄電車・愛知環状鉄道	—	1,338枚

(4) 公式ガイド

- ア おいでん総踊り及び花火大会の情報を掲載した公式ガイドを 18 万 500 部作成しました。
- イ 7 月 19 日（土）に市内全域及び周辺地域に新聞折込、7 月 11 日（金）に新聞未購読者へのポスティングを行うとともに、まつり当日に会場や中心市街地の施設などで配布しました。

(5) 新聞記事、広報とよた

おいでんまつりに関する記事を、中日新聞をはじめ各社に掲載していただきました。

新聞社	掲 載 日	内 容
中日新聞	2 月 27 日	総踊りは 7 月 26 日。花火大会は 7 月 27 日 まつりに先だって市内「マイタウンおいでん」は 5 月 31 日～7 月 6 日
中日新聞	4 月 3 日	実行委員会は、高校生がチームを組んで踊りや花火大会を楽しむ企画「青春おいでん」の参加者を募集している
中日新聞	4 月 16 日	花火大会と広告への法人協賛の募集を始めた
中日新聞	5 月 9 日	実行委員会は、まつりの個人協賛の募集をしている
中日新聞	6 月 1 日	豊田おいでんまつりの一環で、「マイタウンおいでん」が松平体育館を皮切りに始まった
中日新聞	6 月 26 日	花火大会で、有料臨時駐車場を設ける 先着予約制
中日新聞	7 月 8 日	総踊りのオープニング企画「スプラッシュおいでん」を開く 先着で参加者を募っている
中部経済新聞	7 月 22 日	7 月 26 日に「おいでん総踊り」、27 日には花火大会を開催
中日新聞	7 月 25 日	豊田おいでんまつりが 7 月 26、27 の両日に開かれる デンソーウェーブと協力し、花火大会の人流データ取得の実証実験を行う
中日新聞	7 月 25 日	「総踊り」の新たな熱中症対策として前日に発表される暑さ指数の予測値に応じて開催の可否を判断することを決めた
中日新聞	7 月 27 日	総踊りが 7 月 26 日、行われた 老若男女 52 連 1854 人が踊った オープニングでは「スプラッシュおいでん」を開催 子どもら約 300 人が参加
中日新聞	7 月 28 日	花火大会が 7 月 27 日行われた 打ち上げは約 1 時間半続き、滝のように光が流れ落ちる全長 450 ㍎「ナイアガラ大瀑布」でフィナーレ
中日新聞	7 月 30 日	花火の協賛席に約 1 万 3 千人が入場するなど多くの人々が来場

(6) 情報誌・インターネットサイトなど

県内外の情報誌、インターネットサイトなどに掲載していただきました。

宣伝媒体	件数
情報誌	6
インターネットサイト	16
その他	2
合 計	24

(7) テレビ、ラジオなど

放送機関	内 容	日 付
FM AICHI	マイタウンおいでん、おいでん総踊り、花火大会告知	6月23日
東海テレビ チャーじ	おいでん総踊り、花火大会告知	7月19日
ひまわり（CATV） とよたNOW	とよた WEEKLY ピックアップ 「あのことよた おいでんまつり」	7月21日
東海テレビ スイッチ！	おいでん総踊り、花火大会告知	7月21日
ひまわり（CATV）	おいでん総踊り中継	7月26日
ラジオラビート	おいでん総踊り中継	7月26日
ひまわり（CATV）	花火大会中継	7月27日
ラジオラビート	花火大会中継	7月27日

(8) 概要

ア おいでんまつりに関する報道発表を定期的に行いました。

イ テレビ・雑誌・ラジオなどメディアの取材で積極的にPR活動を行いました。

ウ 公式ホームページ及び公式インスタグラムをとおし、おいでんまつりの特徴や魅力、各種情報を多くの方に発信することができました。トップページにガイドブック、予約駐車場、チケット購入に関する特設ボタンを追加しました。

エ 市公式SNS（X（旧：Twitter）、Facebook、LINE）の活用、ツーリズムとよたHP及びFacebookの発信のほか、ひまわりネットワークと緊急情報発信に関する覚書を締結し、開催情報などを幅広くかつスピーディーに発信する体制を構築しました。また、多くの報道機関にご協力いただき、各種情報を展開しました。

(9) 課題

ア 年間を通し継続的に発信を行うことが引き続き必要です。

イ 幅広い世代や市内外に広くまつりを周知するため、時代に適応した広報手法を引き続き検討します。